

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

★最初のISS構成要素打上げから1775日経過しました
★第7次長期滞在クルーのISS滞在は155日経過しました

★ISS動向

先週、第7次長期滞在クルーのルーとマレンチェンコ両宇宙飛行士は、ロボットアームといくつかの科学実験を行いました。

クルーは、材料の強度を劣化させる気泡の形成および移動性の研究(PFMI)実験を予定通り終了しました。

ルー宇宙飛行士は、生物学研究のため3次元の組織サンプルを成長させる細胞バイオテクノロジー運用支援システム(CBOSS)の培養槽(バイオリアクタ)を効率的に運用するため、流体力学研究装置(FDI)に関する作業を行いました。

この作業は、バイオテクノロジー運用支援システムの運用を最適化することを目的とした一連の実験です。それは、癌、糖尿病、心臓病、エイズのような疾病の前例がない研究に結びつくことが期待されます。

先週始め、クルーは、ISSのロボットアームの操作訓練を行いました。ロボットアームを操作し、日陰と比べて日なたではカーモメントセンサーがどのように働くか地上の管制官達と検討しました。

また、ルー宇宙飛行士は、マレンチェンコ宇宙飛行士の支援を受けながら、人体研究ラック(HRF)の超音波装置のテストを行いました。

この実験の目的は、軌道上で運動しているときの人の心肺機能を調べるための超音波装置のテストを行うことです。

テストの間中、ルー宇宙飛行士は自転車エルゴメータを漕ぎました。



デジタルカメラの手入れを行うルー宇宙飛行士



ロシアのオーラン宇宙服を着るマレンチェンコ宇宙飛行士



超音波装置

“トピック”

★10月1日、新機関発足



JAXA宇宙基幹システム本部

宇宙ステーション・きぼう
広報情報センター

宇宙開発事業団(NASDA)は、宇宙科学研究所(ISAS)、航空宇宙技術研究所(NAL)と統合し、2003年10月1日(水)から独立行政法人宇宙航空研究開発機構(Japan Aerospace Exploration Agency: JAXA=ジャクサ)として発足します。

そのため、ホームページのアドレスも以下のように変更及び新規公開になります。(下記サイトは2003年10月1日(水)より、有効になります。)

- ★宇宙ステーション・きぼう広報情報センター <http://iss.sfo.jaxa.jp/>
- ★宇宙航空研究開発機構 <http://www.jaxa.jp/>
- ★宇宙基幹システム本部 <http://www.sfo.jaxa.jp/>

宇宙基幹システム本部では、有人宇宙利用技術の発展、独自の輸送および追跡技術開発によって、日本の宇宙開発の基幹となる事業を行います。

★「人類が創る宇宙史」展開催

10月12日(日)から始まる第18回世界宇宙飛行士会議の併設展示として、「人類が創る宇宙史」展が開催されます。

月着陸船の実物大模型をはじめ、有人宇宙飛行の過去から未来を表現した展示が行われます。

場 所 : 日本科学未来館1階 催事ゾーン

期 間 : 10月1日(水)~11月30日(日) 午前10時00分~午後5時00分

料 金 : 入館料のみ

詳細は、<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/report/143.html> をご覧ください。

なお、第18回世界宇宙飛行士会議・会議セッションへの参加を追加募集しております。締め切りは10月3日(金)までです。

詳細は、<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/report/137.html> をご覧ください。



第18回世界宇宙飛行士会議ロゴ



宇宙探検家協会ロゴ

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)に移行します。

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

9月30日まで、ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibo-koho@nasda.go.jp

10月1日から、ISS・きぼうホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/> Eメール kibo-koho@jaxa.jp

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。